

大分県医療・福祉労働組合連合会（大分県医労連）
〒874-0938 大分県別府市末広町 6-27 ミカドビル 2B
Tel : 0977-75-7556 Fax : 0977-75-7560
E-mail : irouren3984@bloom.ocn.ne.jp ホームページ : <http://oita-irouren.net/>

平成 25 年 12 月 13 日発行

九州セミナー in 大分!! 全九プロ「オルグ要講講座に参加して!!」

「第 24 回人間らしく働くための九州セミナーイン大分」が大分市内で開催され、九州各県から 500 名近くの参加者が集いました。会場は熱気むんむんの中で幕を開け、田中利武大分県現地実行委員



長の「ようこそ大分県へ。今日のこの日の為に実行委員一同おもてなしの心を持ってお待ちしております。」という挨拶から和やかに始まりました。代表世話人会・議長の田村昭彦氏から 1990 年代から続く新自由主義的・市場経済第一主義による「貧困と格差社会」が一段と助長されてきています。国民の健康さえ守れず「ブラック企業」という文字が新聞メディアを駆け回り、ストレスによるメンタル不全が増加しています。その中で「過労防止基本法」の制定に 46 万筆を超える署名が集まるなど、労働者の中には多くの賛同も得られてきていますと話されました。記念講演は、ジャーナリストで和光大学教授の竹信三恵子先生の「働き手の 4 割の健康が見えない～非正規労働者の安全性～」すべての健康を守るために一私たちは何をしていくべきなのでしょう。非正社員を増やさないために、一定のルールを確立する「均等待遇と同一労働同一賃金」「通達ではなく罰則化の検討」「労組への結集」誰もが自分たちの働く権利を知り、行使できる職場づくりをするには、話せる場所を作り知らせていくことが大切です。労組が健康を真ん中に置いてこのような会議・セミナーを開いていくことは大変大きな力となります。働くものすべてが健康に自分らしさを失わずに働き続けることができるようにこれからも声を上げていきましょう。



「第 10 回オルグ養成講座」が 10 月 19～20 日に行われました。「非正規労働者とブラック企業の課題」のテーマで全労連事務次長の井上久さんより非正規の労働者について 20 年前からの経過、企業の労働実態の報告がありました。非正規の 30 代男性の 75.6% が未婚で、今後の社会が崩壊されるのではないかと危惧されています。それを阻止するためには、組合の組織の強化が必須です。しかし組織率が低迷しているという問題点が浮かび上がっています。1 分科会は、非正規の社会貢献の戦い、大きなビジョンを持ち、知識を深めるために学習会を行う事が必要であると報告されました。2 分科会では、次世代オルグの育成について、組合の問題点・あり方・青年のおかれている現状を話し合いました。組合の後継者がいない、新人が組合に加入しないまた離職する。途中退職が多い。定年退職が多い。中堅がいらない。若者が運動に参加しない。いろんな企画をしても参加者はいつも同じ。などの問題点が出されました。解決策に、会議の後に飲み会をする等が提案されました。今後、組合の強化と団結を強めていけたらと思います。3 分科会では、各県の労働実態の報告があり、「労働相談」から組合加入が増えている。学習会を開催している。地域労組の重要性が確認されたと報告がありました。初めての参加で多くの事を習得出来ました。ありがとうございました。

【報告：大分医療生協】



検索!

<http://oita-irouren.net/>

労働組合とはなんぞや? 25

どうなる「特定秘密保護法案」今、国会で提出されているこの問題は衆議院本会議で急速に可決を図るムードとなっています（12月5日現）この法案に国民の知る権利・国民主義権原則・憲法の平和原則にかかわる重大な問題点があり、国民の理解を得るところか圧倒的多数が反対ないし慎重審理を求めています。メディア関係者をつくるマスコミ9条の会で、学生、主婦、会社員など約250人が集り「国民の知る権利を侵害し、取材・報道・言論の自由を規制する天下の悪法。なんとしても廃案に追い込まないといけない」と訴えたそうです。秘密法制で国民の目と耳が閉ざされ、戦争の泥沼に引きづり込まれた戦前の歴史や、戦後においても沖縄返還に関する密約を暴いたために逮捕起訴され有罪判決を受けた西山記者事件などが物語っています。あるべき秘密保全法制は、過去の歴史の検証や国際的潮流も踏まえ、広く国民の理解が得られるように衆知を集めて慎重に検討されるべきです。

【特定秘密保護法の学習会に参加して・・・】私たちも、廃案を強く求めましょう!!

次回に続く・・・